

Bridal Concierge

無料 & 送料も不要!

毎月15日発行
ブライダルマガジン
レイ ウエディング



Lei weddingは、ホテル・式場やドレス、ジュエリー、新生活準備まで、結婚準備に役立つ情報が満載のフリーマガジン。登録すれば、最長1年間12回、自宅に無料送付します。

申し込みはカンタン!

ウェブサイトでお申し込みください

<http://www.lei.tv>
阪神版申込フォームへGO!

問い合わせ ☎0120(08)4116
サンケイリビング新聞社 Lei wedding事務局

vol.5

【新しい挙式スタイル】

「Lei wedding」は「結婚」という言葉が気になり始めたアナタに贈るブライダルマガジン。「Bridal Concierge ~ブライダル コンシェルジュ~」では、Lei wedding編集部がブライダルに関する読者の「？」に答えます。今月は、ここ数年で定着しつつある、新しいスタイルの挙式について。

Q1 シビルウエディングって人前式のこと?

A. シビルウエディングミニスターが司式。より厳粛で格調高い結婚式に

人前式とは、列席者を立会人として結婚を誓う挙式スタイルのこと。会場も進行方法も基本的には自由なので、二人らしさを求めるカップルを中心に以前から人気がありました。ただし、牧師や斎主のような、式を司る立場の人がいない分、カジュアルな雰囲気になりがちなのは否めません。

これに対し、全日本ブライダル協会が認定したシビルウエディングミニスターと呼ばれる司式者が、婚姻手続きを行うのがシビルウエディング。宗教色がなく、場所やスタイルを選ばない点は人前式と同じですが、婚姻届受理証明書をミニスターが披露し、列席者に二人の結婚成立を宣言してくれるなど、より格調高く厳粛な式になるのが特徴です。

最近では、このシビルウエディングに対応するホテルや式場も増えています。また、ウエディングプランナーに相談すれば遊園地や美術館、野球場、船上、アトリウムなど、さまざまなスペースでの挙式も可能。

Q2 再婚同士でそれぞれ子どもがいます。入籍だけで済ますべき?

A. 「ステップウエディング」として挙式・披露宴も積極的に行う傾向が

妊娠を機に結婚する「Wオメタ婚」の増加と同様、ここ数年増えているのが再婚。中には新郎新婦のどちらか、または、両方に子どもがいることも珍しくありません。この場合は入籍だけで済ますカップルもいるけれど、欧米ではこうしたケースを「ステップファミリー」と呼び、ごく一般的なこととして結婚式を行います。

最近では日本でも、新しい家族のお披露目とお祝いを兼ねた「ステップウエディング」として、積極的に挙式や披露宴を行うカップルが増えています。結婚への自覚と責任を新たにするためにも、あえてきちんとした形をとるのもいいことですね。

ポイントは、家族の一員である子どもたちも参加できる構成にすること。子どもにとっても大切な儀式、みんなで一緒に入場したり、小学生くらいの子どもなら手紙を朗読してもらおうなどの演出を加えるのもいいでしょう。

読者の「？」に答えます!



ブライダルに関する質問を募集!

Lei wedding編集部では、ブライダルに関する質問を募集しています。式場選びや、招待するときのマナーなど、結婚に関することなら何でもOK。質問は、ホームページ＝<http://lei-west.jp/>から受け付け。質問が採用された人には、2000円分の商品券をプレゼントします。どんどん応募してね!